

令和7年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	13	学校名	静岡県立浜松特別支援学校	記載者	園田 一哉
------	----	-----	--------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア <授業> 個別最適な学びと協働的な学びを実現する学校				
児童が夢中になれる学校生活の創造	年間計画の作成にあたって、時期ごと、取り組むべきことを明確化・焦点化している。	A	A	児童生徒が夢中になって学びを深めることを継続できるとよい。
個別最適な学びの充実	学びのプロセスと個々の成長を想定した支援目標及び個別の指導計画に基づいた指導ができています。	A	A	個々の認知段階に応じた支援指導は大変なことであるが、先生方の99%が達成できたと回答していることは大変素晴らしいことである。
協働的な学びの充実	集団で取り組む(友だちと取り組む)良さを生かした授業づくりを実践している。	A	A	個々の成長支援も大切であるが、集団での生活支援も欠くことはできない。人間関係、集団での生活への取り組みも継続していただきたい。
自立活動の充実	実態を多面的に捉え、的確な指導目標を導き出し指導場面を明確にして効果的な自立活動の指導ができています。	A	A	実際の授業を参観していないので評価は難しいが、教員の評価を受けて児童が夢中になれる学校生活の実現に向けて、授業改善が進んでいると評価した。
生活単元学習、作業学習の充実	最良のテーマを基に、成就したいことは何かを明確にした授業づくりをしている。授業や単元ごとに個々の学びを共有できている。	A	A	児童生徒の目指す姿を意識した授業づくりができていのはよい。子どもたちが楽しそうに活動している様子から一人ひとりの子どもたちは何を学ぶのかを理解していることと思う。
国語・算数／数学の充実	個々の実態から学習指導要領の領域・段階を捉えた指導計画を立てて、授業づくりをしている。	A	A	個に合わせた授業改善が進んでいると評価できる。

様式第5号

ICTの活用の促進	児童生徒がICTに関心をもち、情報活用力が高まる授業づくりをしている。	B	B	AIの活用は教職員自身がしっかりと学ぶ必要があると思う。AIやタブレットの活用で効率化につながるとよい。
図工・美術等、表現活動の充実	感性を磨き、個性を生かした表現活動のできる素材や補助具を用意している。	A	A	特になし
健康指導の充実	児童生徒が健康を意識して生活できるよう働き掛けている。	B	B	特になし
道徳指導の充実	道徳の指導の観点から押さえるべき内容を確認して、各教科や合わせた指導を行っている。	A	A	児童生徒の良い点、強みなど教員間で共有する場を継続してもらいたい。
イ <安全・安心> 命と人権を大切にする学校				
命を守る意識と行動力の向上	児童生徒の命を守るために、指示がなくても取るべき行動を自分で判断することができる。	A	A	今年度は、実際に津波警報もあり、より実践的な訓練につながるとよい。繰り返しの訓練で自分の命を守ることができるよう引き続き指導をしてほしい。
安全・快適な環境づくり	施設を効果的に活用するために、廃棄・片付け・清掃に自ら取り組んでいる。	A	A	教職員がとるべき対応については「起きてからでは遅い」という感覚をまずは教職員の共通認識にすることが必要だと感じる。
事故防止の強化	けがや事故の予防を心掛け、実態に応じた配慮を行っている。	A	A	ヒヤリハットの共有など、事故予防の意識を高く持てるとよい。
人権を守る意識と行動力の向上	学校が児童生徒の居場所(安心する場)となるよう、人権を意識した言動を心掛けている。	B	B	障がい特性や一人ひとりの特性に応じた指導、サポートができるとよい。「安心感」はとても大切だと思う。一つ一つ丁寧に対応できるように先生方にゆとりがあるとよい。
相談体制づくり	校内で児童生徒が相談しやすい場ができている。	A	A	今年度の試みをさらに良いものにしてほしい。
ウ <協働> 家庭、地域、関係機関と協働して支援する学校				
発信力の向上	学校を知ってもらえる伝え方、発信の仕方を工夫している。	A	A	ホームページやインスタグラムだけでなく、「学校応援隊づくり新聞」の定期発行も地域への発信力は大きい。

様式第5号

江之島地区三校（浜特・江南中・江之高）の協働体制の強化	三校協働事業が少しずつ実施できている。	A	A	継続を強化していきたい。今後は江之島分校を入れた四校の連携で、年間定例行事となるような活動ができれば連携は一層強くなる。
学校応援隊の活用の推進	地域を知る、地域と触れ合う、地域の役に立つ等の活動に取り組んでいる。	A	A	地域への要望、要請はどんどん発信してよい。
進路指導の充実	児童生徒の「夢」を育み、本人・保護者の「願い」を大切にされた進路指導をしている。	A	A	卒業後の社会は、ますます大きく変化をしていると思う。まずは教職員がしっかり理解することが非常に大切だと思う。
センター的機能の充実	高等学校や小中学校のニーズに対応するため、教育相談、研修支援等への依頼に応じている。	B	B	高等学校への巡回を継続し、様々なニーズに対応できるとよい。
エ <チーム> 教職員が夢を持って学校づくりに参画し働きがいを感じる学校				
コミュニケーション力の向上	働きやすいチームとなるよう、相手の立場に立った伝え方、受け止め方を心掛けている。	A	A	「先生と生徒」「生徒と生徒」の間に、いつも「温かい関係」があり、笑いがあり、思いの丈を出せる学校づくりをなされていると感じる。
働き方改革の推進	特別な場合を除き、週に複数回、空き時間を確保している。時間外勤務 45H/月以上が連続する職員はいない。	B	B	先生方の連携を密にし、相互補完体制を構築して週1回の早帰りを定着させる。「家族の日」等の名目で有休取得率の向上を図り、先生方の心のゆとりを創造する。
指導効果を高める予算の執行	必要物品の計画的な購入、不具合箇所への迅速な対応、不用品等の積極的な廃棄等を行っている。	A	A	特になし。
倫理観の向上	不祥事0	B	B	朝の交通渋滞回避のため、江之島町が提供した道路を積極的に活用していただきたい。教職員の倫理観の向上について、学校全体で問い直し続けることが大切だと思う。